



人権教育だより なかよし

上勝小学校は、「心豊かに たくましく 生きる力を育む」という学校教育目標達成をめざし、毎日の学校生活の中で「一人一人を大切にした教育」を進めています。人権教育においても、本校が掲げるめざす子ども像の育成をめざし、学校全体で取り組んでいます。これまでに行ってきた子どもたちの活動を紹介します。

人権とは…

人権とは「**すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利**」です。

- ・健康で安全な生活がしたい。
- ・自由の個性や能力を発揮したい。
- ・目標や夢に向かって進みたい。

きっと誰もが願っていることです。

また、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」が人権尊重です。

人権を尊重し守るためには、自分がまわりの人の生活を見つめ、心豊かな人間関係づくりを進めていくことが大切です。



○1年生を迎える会

1学期には、入学してきた1年生に学校のことを知ってもらえるように6年生が考えた「○×ゲーム」をしました。学校で守らなければいけないきまりなど、2～6年生にとっても改めて確認できるいい機会となりました。他にも「おにごっこ」を全校児童でしました。学年ごとにおにになって、各学年のチームワークもさらに深まったことと思われます。振り返りでは、1年生が「楽しかった」「またやりたい」と話しており、充実した時間になったと思います。



○先生方にインタビュー

今年度は新しく転入してきた教職員が多かったため、「先生たちのことを知りたい!」という子どもたちの思いから、給食の放送の時間を使って先生方にインタビューをしました。

先生方に聞きたいことを自分たちで考えたり、インタビューする練習をしたりと熱心に取り組む姿が見られました。このインタビューを通して、子どもたちは一段と先生方を身近に感じることができたようです。



○授業参観(人権)・講演会



人権に関する授業参観を全校一斉で行いました。各学年とも確かな人権感覚を身につけるように授業に取り組みました。授業参観後の講演会では講師に清水展人先生をお招きし、「自分らしく生きる」をテーマに実体験を交えながら、性の多様性についてお話いただきました。子どもにもとても分かりやすい講演で、自分たちの中にある思い込みに気づかせてくれる、優しい語りかけでした。



○わくわく集会(朝の活動)

人権委員会が中心となって、1Q 班ごとに、「伝言ゲーム」を行いました。伝言ゲームでは「前の人と自分のことを伝える」というルールをつくり、相手に伝えるだけでなく、聞く活動を大切にしました。集会の終わりには、振り返りとして「自分のことを知ってもらえて嬉しかった」「〇〇さんの好きな物が知れてよかった」と、今までとは違った友達の新たな一面を知ることができました。自分と友達のことを共有する時間を取ることで、聞いてくれたという気持ちや友達のことを知ることができる機会となりました。

